

# 校歌

## 探訪

ふるさとの音色

□174

作詞 船越 清治  
作曲 仲本 朝教

一 筆架け山に草萌えて  
緑あやなす奥武山  
深きゆかりの落平に  
いらかはそびえ陽に映えて  
生い立つほまれ讃えつつ  
学びの道にいそしまん

二 古きれきしの垣花  
文化のはなをさかせたる  
祖先の遺業をうけつぎて  
日毎のおしえひとすじに  
心のみがき 身をきたえ  
理想のまちをうちたてん

三 筆とるわれらに 希望もえ  
若きいのちにわきいずる  
平和と自主のころもて  
今日も元気にいさましく  
奮いはげみてもろともに  
重き使命をはたしなん

校舎に立つて運動場を  
向くと、なだらかな丘が  
目に入る。地域から「筆  
架け山」と呼ばれ愛され  
る、木々に覆われたその  
丘は見る人を和ませる。  
那覇市山下町にあり、創  
立68周年を迎えた市立垣  
花小学校は市内では珍し  
い多くの緑に囲まれた学  
校だ。

沖縄戦が終わってから  
一年半後の1947年2  
月、奥武山公園内に位置  
する護国寺跡地にみなと  
小学校として授業を行っ  
たのがその始まりだ。校  
舎はテント小屋だったと  
記録されている。台風の  
たびに壊されては、その  
つと保護者や地域住民で  
修理した。  
50年、現在地にかわら

# 児童見守る「筆架け山」

ぶき校舎を建てて分校場  
に位置つけた。53年には  
ブロック建ての教室を造  
り、本校も現在地に移転  
した。戦前、現在の那覇  
軍港の場所にあった垣花  
国民学校の歴史は継承し  
なかった。

山や奥武山、落平などの  
地名が盛り込まれてい  
て、児童が地域に愛着を  
持つことを手助けしてい  
る。地域のお年寄りを招  
いてのふれあい給食を実  
施するなど、住宅地の真  
ん中という立地を生かし  
た行事も行っている。

6年生の上間幸太君  
「(12)は「歌い出しの歌詞  
がとても好き。筆架け山  
は垣花小のシンボルにな  
っているから、歌ってい  
て気持ちいい」と校歌の  
好きな箇所を語った。同  
じく6年生の高良万由奈  
さん(12)は「毎朝登校し

た時に筆架け山を見ると  
『今日も一日頑張ろう』  
っていう気持ちになる。  
私にとって大きな存在だ  
と思う」と話した。  
「筆架け山」に見守ら  
れ、垣花小児童は今日も  
元気いっぱいだ。  
(当銘寿夫)

## 地域の名所、歌詞に



昭和47年10月 撮影

上空から見た垣花小学校敷地。左手前が  
「筆架け山」1972年10月(垣花小  
学校創立五十周年記念誌から転載)



筆架け山を背に笑顔を見せる垣花小児童  
2月27日、那覇市山下町の市立垣花小学校



那覇市立垣花小学校  
(平良雅司校長) 19  
47年2月3日、みなと  
初等学校として開校。在  
校生は223人。201  
4年3月末の卒業生は5  
385人。那覇市山下町  
17の1。

那覇市立 垣花小学校

音声はHP(ryukyushimpo.jp)でお楽しみください。

